

作文集を活用した取組事例

1 実施時期・実施回数について

- 7月に人権作文の紹介と人権作文を書く動機付けとして実施した。
- 人権週間の前に、人権意識を高めるため全校放送を実施した。
- 人権週間中の3日間、朝読書の時間に実施した。
- 人権週間中、給食の時間に実施した。

2 実施方法について

(1) 朗読を行う作品の選定等

- 人権作文集の中から生徒の実情に合った題材の作品を担当教諭が選定した。
- 自校生徒の人権作文コンテスト受賞作品を題材に全校生徒に対し朗読した。
- 生徒に身近な題材を選んだ。
- 生徒会役員が「どの作品がより多くの人に響くか」を視点に放送する作品を選んだ。
- 人権作文集の中から生徒が作品を選んだ。

(2) 朝の時間を利用しての実施

- 朝の全校集会において教員の読み聞かせで行ったため、全校生徒が同じ場所で集中した雰囲気の中で朗読を聞くことができた。
- 朝読書の時間に、校内放送を利用し、全校生徒を対象に、生徒の代表が朗読した。
- 朝の気持ちが落ち着いた時間に朗読を聞くことで、生徒の心に残った。

(3) 生徒による朗読

- 人権週間の朝の校内放送において生徒会役員が朗読し、各生徒に感想を書かせた。
- 自校生徒の作文を本人が朗読した。
- 人権とは何か、人権週間などについて教師から全校放送で説明をした後、生徒が朗読した。

(4) 教職員等による朗読

- 担任の朗読で全クラスが実施するようにし、生徒に感想を書かせ人権への意識が高まるようにした。
- 朝の時間帯に、教員が校内一斉放送により行った。
- 校長先生による全校一斉の朗読により、人権意識を高めた。

(5)工夫した点

- 担当教諭が生徒に「世界人権宣言」、「人権デー」及び「人権週間」の意義や目的について話をした。
- 担当教諭が、人権週間について説明する際に使用する簡単なプリントを作成したり、人権について学べる動画を紹介したりした。
- 複数の入賞作品を生徒のタブレットに配信し、多くの作文を読めるようにした。

人権週間に実施する場合の趣旨説明（例）

皆さんは、「人権」という言葉からどんな印象を受けますか。

「なんだか堅苦しくて難しいもの」と考えていませんか。

何も難しいことはありません。

「人権」は、一人一人が生まれながらに持っている権利で、誰にとっても身近で大切なものです。

私たちは、誰もが、自分の命を大切にし、人間らしく幸せに生きたいと願っています。

私たちは、自分の「人権」を大切に思うのと同じように、他の人の「人権」も大切にしなければなりません。

しかし、現実の社会では、残念ですが、「いじめ」や「虐待」など、悲しくて痛ましい人権問題が多く発生しています。

そこで、我が国では、毎年12月4日から12月10日までの1週間を「人権週間」と定め、全国各地において、人権に関する様々な活動が行われています。

私たち〇〇中学校では、中学生が人権尊重の重要性と必要性について理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身に付けることを目的として、法務局と人権擁護委員が実施している「全国中学生人権作文コンテスト」の優秀作品を朗読します。

この人権週間に、今一度、「人権」について考えてみましょう。

それでは、朗読します。静かにお聞きください。